

提供日: 2007年3月19日

部局名: 琵琶湖環境部

所属名: 最終処分場特別対策室

担当者名: 卯田、中村

内線: 3671

電話: 077-528-3671

メール: df0001@pref.shiga.lg.jp

アール・ディエンジニアリング最終処分場周縁地下水調査結果について

栗東市小野の(株)アール・ディエンジニアリング最終処分場について、周辺環境への影響を把握するため、当該処分場の周縁地下水等モニタリング調査を行っているところですが、平成18年12月に実施しました調査の結果は、以下のとおりでしたのでお知らせします。

なお、モニタリング調査は、今後も継続していくこととしており、調査結果を踏まえて、「RD最終処分場問題対策委員会」で地下水汚染対策等の必要な検討を行うこととしています。

1.調査日

平成18年12月20日(水曜日)

〔平成18年度周縁地下水等調査について〕

- 周縁地下水: 四半期毎に1回の計4回実施(今回3回目)
- 場内浸透水: 年1回(H18.9に実施済み)
- 浸出水処理施設: 四半期毎に1回の計4回実施

(※1)浸出水処理施設については、不具合のため現在停止しており、今回は調査を行っておりません。

2.調査実施者

滋賀県 琵琶湖環境部 最終処分場特別対策室

3.調査地点

[別添位置図参照\(PDF:101KB\)](#)

- 周縁地下水: 4地点(No.1、No.2、No.3、No.9)

4.調査項目

- 周縁地下水: BOD等の一般項目の他、有害物質24項目

5.調査結果

(1) 周縁地下水

[分析結果資料\(PDF:14KB\)](#)

- No.1井戸
シス-1,2-ジクロロエチレンが0.086mg/l検出され、廃棄物処理法に定める安定型最終処分場の周縁地下水の基準値(以下「周縁地下水の基準値」という。)(0.04mg/l)を超えていた。
また、ほう素は1.2mg/l検出され、地下水の環境基準値(1.0mg/l)を超えていた。
その他の項目については基準値を超えているものはなかった。
- No.2井戸
ひ素が0.012mg/l検出され、周縁地下水の基準値(0.01mg/l)を超えていた。
その他の項目については基準値を超えているものはなかった。
- No.3井戸
ダイオキシン類が1.5pg-TEQ/l検出され、周縁地下水の基準値(1.0pg-TEQ/l)を超えていた。
なお、濁りの影響を取り除くために、1μmフィルターでろ過したろ液を分析したところ、値は0.040pg-TEQ/lと基準値を下回っていた。
その他の項目については基準値を超えているものはなかった。
(※2) pg :mgの十億分の1(1pg=1,000,000,000分の1mg)
(※3) TEQ: 毒性等量であることをいう。ダイオキシン類には多くの異性体が存在しており、その毒性は、異なっている。このため、混合しているダイオキシン類の毒性の強さを評価する上で、最も毒性の強い2,3,7,8-TCDD(テトラクロロジベンゾダイオキシン)に換算した数値
- No.9井戸
鉛が0.013mg/l検出され、周縁地下水の基準値(各0.01mg/l)を超えていた。
その他の項目については基準値を超えているものはなかった。

【参考】栗東市調査結果

なお、9月、11月、1月に栗東市が調査した結果は、上記のNo.1井戸でシス-1,2-ジクロロエチレンがそれぞれ0.076mg/l、0.087mg/l、0.077mg/lと今回の調査と同様に周縁地下水の基準値を超えて検出している。

原因究明については、市と連携しながら、調査結果等をRD最終処分場問題対策委員会に報告し、この問題の検討を行っていきます。

関連リンク

[最終処分場特別対策室](#)

[RD最終処分場問題対策委員会](#)

[RD最終処分場問題行政対応検証委員会](#)